

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2021

12

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 11月句会	19
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会 10月句会報	30
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	18
Infomation	33～

カンテラ

むせし

コロナに明け暮れてあつという間に12月。

家にこもっている時間が長くなって、本を読んだか、句を作ったかと聞かれると返答に困ってしまいます。

会員の皆様は、本を読みましたか？句を作りましたか？

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

錦秋やあと五年ほど見ていたい
村上てる
罪を背負って赤くなる酔芙蓉
土田雅子
郵便はこないし過食ぎみである
鳴海賢治

んですよ。つまり、仮止めたところが錆びている。と、ここまで考えてきて、この「待ち針」って何に打っているのだろうと思いはじめました。もしかしたら、布に打っているのではなく、何か違うものに打っているのではないだろうか。例えば、心のどこかに打っているのかも…、などと思いはじめました。書かれていないところを詠むようにしてるのかな…。

B群

極上の闇釣り上げました「かしこ」
岩根彰子
今日も雨なにやら象形文字な朝
熊谷冬鼓
エンターキー連打臆病ナルシスト
須藤しんのすけ
足枷を外すシヨウウガが香る夜
まきこ
こむら返りを徹子の部屋に閉じ込める
三浦蒼鬼
戸袋が哭くので夜を片付ける
きんぎ彼句吾
どこまでも正義でいるかマヨネーズ
石橋芳山
指先から声が漏れ出ていたなんて
四ツ屋いずみ

秋空の重しになろう寝転んで
ひとり静
落ち葉舞うしわのカタチも固まって
旅男
夜が来た私を黒く染めに来た
斎藤泰子
ねこの手も蛇の寝言も役立たず
葉閑女
物の怪も私も巢くう花の闇
吉田州花
殺意だけ残して湿気た塩センベイ
ひとは
とりあえず葉になって今日終える
渡邊こあき
待ち針をうったところが錆びている
米山明日歌

米山明日歌さん、「待ち針」って裁縫に使う仮止め用の針のことですよ。で、この句、「待ち針」が錆びているんじゃないかと、「待ち針をうったところが錆びている」

四ツ屋いずみさん、不思議な「指」をお持ちですね。わたしは、喉頭癌を患ったことがあって、再発すれば声帯を摘出するので声を出すことができなくなると医師から言われています。つまり、「声」は声帯から出るのですが、指からも出ると助かりますね…。あ、そうじゃないんだよね。気持が表面に出ないように我慢していると、喉から出るはずの声が変な所から出てしまうってことですよ。気をつけなくちゃ。

C群

偶然亀を助けたジー様です
田久保亜蘭
銃身をたもつ反動をにがすbang!
奈良一艘
幻影肢月下の海に立っている
小野五郎
ずっと外みている猫の尾はふたつ
宮井いずみ
思うほどポリエチレンじゃない夜明け
守田啓子

田久保亜蘭さん、「亀」を助けたのは浦島太郎じゃないんだね。浦島太郎は玉手箱を開けてお爺さんになった

んだもの…。ということはこの句の「爺様」ならぬ「ジイ様」は自動的に田久保亜蘭さんということになります。亜蘭ジイ様！せっかく助けたんだから、その「亀」を食べちゃダメですよ！それと、この破調、どうしたの？

奈良一艘さん、銃を所持していらっしやるのですか。まさかねえ…。ところで、何で「銃身を保つ」「反動を逃がす」じゃなく平仮名の「たもつ」「にがす」で、銃声もどうして「バン！」ではなく「bang」なのですか？うーん、もしかしたらこの句は小便器に向かって用を足しておられる図ではありませんか？

小野五郎さん、私は「幻影肢」を知りませんでした。広辞苑で引いたら「失った腕や脚がまだ存在するかのように、痛み・かゆみや運動感覚を感じる現象。幻肢。」とあってびっくり。失った脚が「月下の海」に立っているって、もちろん実話じゃないですよ（汗）ああ、美しいんだか不気味なんだか…。

宮井いずみさん、この猫、いずみさんの飼っていらっしやる猫でも、いずみさん本人のことでもありませんよ

ね？「尾はふたつ」って、それは「猫また」という妖怪ですよ。鳥取県の境港市にある水木しげるロードに猫又のブロンズ像が設置されていて、尻尾が2本に分かれているって…。でも、猫また、どうしてずっと外を見ているんでしょう？

守田啓子さん、「ポリエチレン」って何だか知ってる？広辞苑を引いたら「エチレンを重合させて得られる合成樹脂。熱可塑性で軽く、安価で耐薬品性が強く、加工しやすい。また電気絶縁性がよい。軟化しやすく可燃性であるのが欠点。フィルム・シート・成型品に多用する。」って書いてあったよ。簡単に言えばビニールみたいなものだね。それが、どうして「夜明け」の形容に使えるの？普通の人間であるむさしには思いもつきません。「思うほどポリエチレンじゃない」って状況も分かりません。でも、この不思議さが読者の心を捉えてしまうんだよね

：（汗）

おかしやうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅年度賞

アラレ降る三角コーン立ち上がる

渡邊こあき

★無人駅11月月間賞

鮭のカマ焼いて出番を待っている

守田啓子

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

喜怒哀楽詰まった家が壊される
苦しみは刻んで炒めチャーハンに
胃の中の怒り発酵してゲップ
悲しみに砂糖タップリ甘酢漬
楽しみはバルーンアートにヘンシーン

先月号のお気に入り
ふっくらと心穏やかにはなれず
その通りです。いつもさざ波立っています。
吉田吹喜

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

米寿すぎまだ背を押される父母の影
錦秋やあと五年ほど見ていたい
卒寿くる七色の虹よりわだち踏む
栗を食う寡黙になつて食べている
茶筌ふる秋時雨の音ききながら

先月号のお気に入り
蒼すぎる空で永代供養する
どこまでも深い秋の蒼い空、心身共洗われる気持です。
同感しました。
三浦蒼鬼

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

おでん鍋はずれクジにもある旨み
下馬評はひっくり返すためにある
鮮やかな燕返しを御覧じろ
ねこの手も蛇の寝言も役立たず
Kじゃない村上世代と言いなさい

先月号のお気に入り
どえらいことをするために靴を脱ぐ
来客が靴を脱いだら身構えなくっちゃ！
鳴海賢治

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

パズルです私なんかを繻けば
根掘り葉掘りレモンの香りする穴へ
素質なら娼婦とやくざホームレス
物の怪も私も巣くう花の闇
断捨離のときめき計るラブレター

先月号のお気に入り
能天気結構波をかぶります
かぶったらかぶったままで参りましょう
辻井洋子

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

待つても待つても待つても切り取り線
思うほどポリエチレンじゃない夜明け
絆創膏貼られたそこが登竜門
ちくつとしただけで終わった恋でした
おでこにも腋の下にもヒヤシンス

先月号のお気に入り
素通りは出来ない平仮名のまの辺り
そりやそりです、まみどりさんの「ま」ですもの。
まみどり

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

少女が女に変わるように秋から冬
四コマのサザエさん冬支度はじめ
絵文字つけて明るいい人に仕立てる
明日という字が好きでジャムを煮る
一年の苦をシュレッターして夕ご飯

先月号のお気に入り
わたくしのところどころに破裂音
私も自分の中の破裂音聞くことがあります。
芝岡かんえもん

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

行きたいともう思わない夢の国
やめようかもうやめようか 酒なんて
食べなきやね何があつてもとりあえず
ヒト族のなんて孤独に弱いこと
長電話 遠吠え中のタヌキです

先月号のお気に入り
チヨコレートパキンと割ったよな別れ
上手いなあと思いました。
斎藤泰子

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

陽性者もぐら叩きで消してゆく
世迷いごとばかり吐いているシジミ貝
人づき合いが少し苦手なハリネズミ
漱石のページを影の長い指
億年の月の孤独と私のこどく

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

八百万神も見ていた手術室
前世の全盛期がフラッシュユバツク
指先から声が漏れ出ていたなんて
シーソーを降りてしまった怠け癪
大菊の背骨をしばし借りますね

先月号の
お気に入り

湧き水がポコ 耳を貸し虹を編む 田中 薫
ポコがいいですね。優しい柔らかな世界に引き込まれま
す。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

一日の橋をこわさぬよう眠る
運命はいつも逆からやってくる
待ち針をうったところが錆びている
走り書きばかり入った秋の箱
ひらひらと鱗の落ちる第二章

先月号の
お気に入り

正しさは遠心力で量るべし 熊谷冬鼓
遠心力ですか。さっそく試してみます。

石橋芳山【いしばしほうざん・鳥根県松江市】

竜宮をペロンと舐めてからサラバ
どこまでも正義でいるかマヨネーズ
隠れ家をフルーツポンチへと移す
クレープに巻かれ金曜の夕方
テラミスのふわりと嬉しさが分かる

先月号の
お気に入り

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

極上の闇釣り上げました「かしこ」
三食昼寝間にモノヲ壊してる
天高く捜索中のゴムパンツ
横着病は映らへんねえMRI
神代からマスク離さぬ三猿さ

先月号の
お気に入り

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

とりあえず葉になつて今日終える
10月の朝顔あすも咲いているか
明後日は玉虫色になつている
来週になんて約束できません
花屋閉店モノクロになる1か月

先月号の
お気に入り

地を蹴ってドダレバチなど踊らんか 吉田州花
盆踊りの中で、ドダレバチが一番好きです。踊れるとき
にいつばい踊っておけばよかった。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

咳止めのドロップくれるハーメルン
ラバの背でまるごと許される私
不揃いな素足でめくる森光子
一枚の布あたたかく餓死凍死
読みながらさまよいながら平泳ぎ

先月号の
お気に入り

手と足が出てくる夜の掛時計 小野五郎
踊る、痒い、数える、体操……。指で数えるのです！

上村夢香【うへむらめか・山口県岩国市】

再挑戦しつかりせよと母の声
栗拾い負けてばかりよイノシンに
元上司から今でもやはり受ける指示
選挙カー過疎地の村はノーマーク
さあ女子会気合を入れて出かけます

先月号の
お気に入り

不要不急それはわたしのことですか まきこ
県境を越えておでかけのわたしでしょうか？

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

湖に共同墓地の蜃気楼
行つたことないけどカサブランカに女
トルファンの郵便番号知らないか
幻影肢月下の海に立っている
ポケットから取り出す晩秋の浜辺

先月号の
お気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

そつと寄り添う命ひとつのお灯明
斜交いに吊るす真つ赤な胸の有漏
戸袋が哭くので夜を片付ける
まだそぼ濡れる別れ際の薄墨
虚ろにも明日が勝手にやって来る

先月号の
お気に入り
一日がモモも拾えず流れてく
この所そんな日々ばかり、のような…
辻井洋子

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

しあわせな気分にさせてくれる音
雨だれをBGMに生乾き
小分けて優柔不断をやりすごす
今日も雨なにやら象形文字な朝
たぶんそれは雨の上がった駐輪場

先月号の
お気に入り
ハシビロコウに言い訳してるカメレオン
相手がハシビロコウじゃ手強い
むさし

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

これからだと言うのに舌が動かぬ
傷みだす昨日もらった夏の空
愛されたくて10月の雨吠えている
雨雲の下ですつと待っている蜻蛉
冬がくる同じ匂いのする女

先月号の
お気に入り
わたくしを如で上げるなら約2分
あら：即席ラーメンより早い！凄い人だ。
奈良一艘

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

月欠けて夫の最期を振り返る
災害を横目に食べる朝ご飯
家事介護放り出してはプロ野球
日に三度何も言わずに食べる母
絶好調三日続いてから目眩

先月号の
お気に入り
頑張らないで生きていこうと決めたのに
頑張らないと私が消えてしまいうそで…
むさし

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

案外に居心地のいい小さな箱
薄ら闇ふすま開けると流れ出る
夜が来た私を黒く染めに来た
直線をちよつとだけくすぐってみる
雪になる存在していいですか

先月号の
お気に入り
触つたらだめよ琴線なんでもの
この特別感、いいなあ。五七五で触れちゃつたらなにを
奏でるのかなあ。愉しみ！
土田雅子

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

鬚を結う秋海棠の理容院
鳴き声のコロナ依存の杜鵑
通夜の宴忘れられない一夜酒
父の遺した桂離宮の隠し窓
母の血の滴り落ちる豆絞り

先月号の
お気に入り
ムーミンの膺はぜつたい秋の季語
ムーミンと呼ばれた友人に捧げます。
奈良一艘

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

ご立派な巻頭言の自慰に酔う
エンターキー連打臆病ナルシスト
愛人になれない不機嫌な坊や
ヤラナインジャナイボクハデキナインダ
腹黒い使い古しの落とし穴

先月号の
お気に入り
青刺りの頭の右が欠けている
生まれながらの真つさらな感性って、大切だけど邪魔に
もなるんだよなあ。
宮井いずみ

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

核心に触れて水割りからロック
謎を解く一歩で階段踏み外し
ジャンプ台その先に立っていた神だ
こめかみのあたりにスperl引つ掛かり
炎上へ書き込んだなら大炎上

先月号の
お気に入り
無職だというのに忙しい朝だ
定年退職後の人生に対して不安になるものですが、毎日、
忙しいという事は良いことではないでしょうか。
城後朱美

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

後ろ髪拾ってきたと姉に言う
アリアア人ですか あたい腋毛です
猫を追い出し入札する炬燵
ギロチンにされて竹輪の呻き声
偶然亀を助けたジーン様です

先月号の
お気に入り

旅 男【たびお・青森県五所川原市】

おめでたい屁を放しおり誕生日
油断したポケットの穴つき落とす
老親よ静心ばせ秋の終
落ち葉舞うしわのカタチも固まって
人生はあつという間のホコリタケ

先月号の
お気に入り

この世にしがみつく握力があなた きざらぎ彼句吾
切ないですね。この世、しがみつく、あなた。握力のし
がらみですね。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

本日は終のベッドの搬入日
導いてくれなきやちゃんと笑えない
六十を登ってからの裏階段
罪を背負って赤くなる酔芙蓉
床ドンで遺言状を迫られる

先月号の
お気に入り

身の内がみなぎってくるバイク音 辻井洋子
そういうタイプでしたかー因みに私は雷鳴です。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

介護中わたしの中に生やす羽
地味な日の電灯ワット数上げる
ひと言も発しない夜 小豆煮る
いい目覚め茶飲み茶碗で立ち泳ぎ
錠剤の一粒だけが背負う罪

先月号の
お気に入り

薫沼が笑ってくれた ただ ただ ただ
それだけでいいですね、 田中薫

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

迎え火と送り火は風になりました
守りたい だから今をギユツとギユツと
花の声螺旋階段咲きしめて
ゴミですか宝ですかわたしですか
睡蓮の池漂うああ更年期

先月号の
お気に入り

何事も無いはずは無い四世代
くスゴイです。天晴れ>>> 斎藤泰子

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

納豆で仕上げたわたし良く粘る
知恵はもう絞り切ったと干し葡萄
許されてスルスル入るなめこ汁
そんなはずないこんなはずない蜃気楼
そんな時バナナの皮で滑ります

先月号の
お気に入り

チヨコレートパキンと割ったよな別れ 斎藤泰子
後味すっきり、ですね！

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

ランドしてしおらしく転ぶ
さよならのビードロ的な夢の後先
知ってるかぢぢいやなければ出来んこと
基本的人権ならば下半身
銃身をたもつ 反動をにがす bang!

先月号の
お気に入り

老いのせいかな賢者タイムのせいかな Sin
ま、両方でしょうな。うむ。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

おんぶにだっこ免疫力はありますか
常識の範囲で四角紙面です
郵便はこないし過食ぎみである
カメムシがまたも濃厚接触者
波がくるコロナワクチン済みました

先月号の
お気に入り

わたくしを茹で上げるなら約2分 奈良一艘
この突飛さに脱帽です。

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

ネコ缶キコキコ悪魔のような天使たち
口紅の消費期限がひたひたと
重罪のように聞こえるリバウンド
殺意だけ残して湿気た塩センベイ
去勢され月が段々欠けていく

先月号のお気に入り

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

神無月とんちんかんな音ばかり
エンディングノート開けば蟬時雨
アニーローリーまぼろしの虹だったよね
秋空の重しになろう寝転んで
昼半畳がストライクゾーンに

先月号のお気に入り

クラフトな男と食べる空の青
至福の時間ですね。
土田雅子

まきどり【まきどり・青森県青森市】

羽化できた心にレモンひとしぼり
変化球だらけのわたし好きですか
足枷を外すシヨウガが香る夜
凄みなら見せてあげます何度でも
バトン渡す小さな夢は隠しとく

先月号のお気に入り

素通りはできない平仮名のまの辺り まみどり
楽しいですね。そうなのよ。なぜか反応してしまいます。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

つくづくと穏やか風船のままに
しぼむのか弾け飛ぶのか風まかせ
本当はわかっています打開策
わがままを崩す刺激を下されば
リベンジの気力だけでも保てそう

先月号のお気に入り

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

こむら返りを徹子の部屋に閉じ込める
完膚なき姿をお見せいたします
エビチリに怖じ気づいたら負けになる
恥ずかしながら糖質ゼロの雪が降る
アボカドが転がるように愛せるか

先月号のお気に入り

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

板前は舌を三枚もっている
包丁を研ぐ音 闇と響きあう
ずっと外みている猫の尾はふたつ
さよならはこのナンプレが解けてから
電波時計にとどくシリウスの小言

先月号のお気に入り

ジャガイモのかたちと老いの互換性 三浦蒼鬼
最近若作りの服が痛いほど似合わない。ジャガイモの麻
袋でニューファッションとしゃれてみよう。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

帰宅後の何かあったという空気
ドローンの森の高速道路は刃
五十過ぎ母と半分姉妹かな
理想象のジグソーピース何処いった
暮らさない？暮らせないでしょ弟よ

先月号のお気に入り

むさし【むさし・青森県蓬田村】

星降る夜の交差接種と「ぬ」という字
夜を燃やし酒盛りしようファン・ゴッホ
上腕二頭筋の竜巻注意情報
コロナウイルスが何だ！と風を聴いている
昨日から雨が降ってる右の肘

深艘心理

やり直すとしたら二十歳の道玄坂
自覚症状なくても近くなるひとり

土田雅子
三浦蒼鬼

(会員雑誌集無人駅10月号より)

一句目のやり直すとしたらとの前提での、やり直すのは人生。それも現在の伴侶ではなく別な伴侶との人生だったのなら今自分はどうなっていたのか?という自問。その中には現在への少しの憂いがあるからなのだろう。二十歳の時、大学生?だった頃の渋谷道玄坂での出来事がドラマのように目に浮かぶ。

二句目の近くなるのは何が近くなるのだろうか?一字空けで「ひとり」とあるからにはひとりの生活。つまり伴侶が欠ける?いやいや、あんなにお元氣な奥様にそんな事はある筈がない。とすれば、ここはそのまま素直に読むことにしよう。つまり、老いたという自覚が無いまま

に夜尿が近くなる。隣の妻はゴーゴーといびきをかいて寝ているし、あくあ……という孤独な老人の憂い(笑笑)

松山千春の「恋」という歌の歌詞に、「男はいつも待たせるだけで♪女はいつも待ちくたびれて♪」というのがあった。

同じ憂いでも男と女は憂いの沸点がどうも違うような気がするのは私だけだろうか。

掲句からは、「男はいつも現在を嘆き♪女はいつも過去を悔いて♪」と聞こえてくるのは多分空耳。ということにしておこう。

こんな日を

11月6日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(12名)

守田啓子・熊谷冬鼓・渡邊こあき・小野五郎・野沢省悟・葉閑女・まきこ・Sin・むさし・奈良一艘・笹田隆志・土田雅子

▼投句者(23名)

安藤なみ・米山明日歌・柳本恵子・吉松澄子・芝岡かんえもん・城後朱美・村上あつこ・吉田吹喜・旅男・石橋芳山・斎藤泰子・岩根彰子・夏草ふぶき・鳴海賢治・郷田みや・宮井いずみ・きさらぎ彼句吾・田中薫・村井規子・まみどり・笹田かなえ・須藤しんのすけ・坂本清乃

おかじょうき川柳社 11月例会

席題『困る』

青森県青森市 守田啓子選

【佳作】

困ったな百まで生きてしまいそう 野沢省悟
 困らせてみたい男が困ってる 葉 閑女
 パンツ脱いだところで代走頼まれる 土田雅子
 モザイクを剥がすと美少女の私 まきこ
 幸せな真昼に少しある負い目 土田雅子
 黄昏を撮影してもいいですか 小野五郎

困りごと紅葉の枝にかけておく 渡邊こあき

いつまでも迷子でいたいオジイちゃん むさし

躓いたことも忘れて秋うらら 熊谷冬鼓

心の奥に蒔かれた種が樹になった むさし

【秀逸】

わたくしのどこがヤンバルクイナの 奈良一艘
 冷やさずに発電してる冷蔵庫 笹田隆志
 証人がタチアオイしかいなかった 小野五郎

【特選】

なにもかも許せるようで許せない 奈良一艘

『下五の「許せない」がやんちゃでかわいい。人間らしい。川柳らしい。』

席題『困る』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

霜月の落としどころが見つからぬ 土田雅子
 困らせてみたい男が困ってる 葉 閑女
 パンツ脱いだところで代走頼まれる 土田雅子
 心臓の蓋が三ミリずれてます 小野五郎
 心の奥に蒔かれた種が樹になった むさし
 吃音に思わずなってしまう秋の… 奈良一艘

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

誰でもよかった四角い波が押し寄せる 守田啓子

『そんな事件が多すぎる。四角い波の表現が見事。』

宿題『辺』

青森県弘前市 奈良 一艘選

【佳作】

その辺で私の影が寝てないか
君の手の触れたあたりが燃え上がる
コピーエラー続くあたしのピのあたり
目に見えぬ水辺の音が体から
丸くならう背骨の二等辺削る
幻聴のめまいか辺見マリなのか
片田舎好きです秋刀魚のみりん干し
そのうちの一边は母老いた母
底辺に水漏れ警報発令中
この辺で枕を変えて出直すわ
フクシマの水辺に止まる家族写真
奇人変人 わたくしの周辺
一边が行方不明で夜が来た
門限の手前辺りでハグされる

むさし
むさし
守田啓子
村井規子
村井規子
石橋芳山
熊谷冬鼓
斎藤泰子
夏草ふぶき
岩根彰子
柳本恵子
土田雅子
坂本清乃
柳本恵子

生きている黒い大蛇のはびこる岸辺で
アスパムにアンダーヘアがなく眩しい
風力5身辺整理始めます
この辺りだった「ところによって雨」
十二指腸辺りに棲んでいる悪女
アブサン一辺倒という燃え方

笹田隆志
野沢省悟
宮井いずみ
吉松澄子
芝岡かんえもん
米山明日歌

【五客】

さよならは朝の水辺でつつがなく
毛羽立って来たの鎖骨の下辺り
この辺にあつた薬指の日焼け
天辺へ行けば叫ばなあかんから
傀儡棲まう小腸のピラピラ

まみどり
土田雅子
須藤しんのすけ
宮井いずみ
岩根彰子

【人位】

わたくしの夢の辺りにいる干もの

芝岡かんえもん

【地位】

アデイシヨナルタイムが打ち上がる浜辺

石橋芳山

【天位】

へんの辺りのムンクの白い叫び声

むさし

↑ 白い叫び声のリアルさに参りました。

宿題『減る』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

できること減って九十よく眠る
減塩のしじみ汁ですそれらしく
言わなくて良かった丸く収まった
古稀過ぎてカウントダウン始まった
表情がなくなっていく老母の冬
減らず口たたけたたととチャイム鳴る
赤ピンク減ってまわりは野郎ども
大丈夫財布は軽くなつたけど
父が逝き母を看取って影と居る
あくびする度減ってゆくシーラカンス
迂闊にもたましいを減らしてしまう
騙し絵の階段登るダイエツト
糖質がZEROのおとこに成り果てる
化石にも磨り減る部分があるんです

斎藤泰子
郷田みや
村井規子
村上あつこ
斎藤泰子
渡邊こあき
石橋芳山
村上あつこ
葉 閑女
野沢省悟
芝岡かんえもん
S i n
奈良一艘
小野五郎

どちらかと言えば精子が減ってます
脱法的減量ですがやりますか
いい加減にしろと福の神が言う
常識を問引いてここに立っている
幸せが減るから僕は笑わない
笑うとね心の痛み減るんだよ。

奈良一艘
小野五郎
まきこ
土田雅子
城後朱美
村井規子

【五客】

上弦の月のウロコが欠けてゆく
突然の訃報六十七だとか
握力を鍛えろ秋がこぼれ出る
ワクチン接種 まったく減らないひとり鍋
少しずつミイラになろう日向ぼこ

奈良一艘
葉 閑女
守田啓子
S i n
吉田吹喜

【人位】

ドーナツの穴が大きくなっている

吉松澄子

【地位】

引き算が疑惑の種を増やしてる

渡邊こあき

【天位】

嘘つきのコップの水が減っていた

城後朱美

↑ 「嘘つき」と「コップの水」との距離感が不思議…。

宿題『自由詠』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

国歌斉唱たとえば平行四辺形
逃亡を考えているモアイ像
今日だけは礼儀正しい林檎パイ
やがてやがての青空はカボチャ
他人だもの嫁をあつさり卒業す
独り居が好きで逢いたい人もいて
法事ながら七時のニュース聞きましよう
掃いてもすぐつもる終活の枯れ葉
脳内に極太マーカー準備する
女という桶はいつも濡れている
洗濯機の臍の文句を聞いてやる
湯豆腐が煮立つ影絵になる昭和
カラス追う夕焼け雲の赤い痣
スマホオフ心のほつれ始末する

奈良一艘
むさし
郷田みや
岩根彰子
城後朱美
葉 閑女
旅 男
きさらぎ彼句吾
渡邊こあき
米山明日歌
安藤なみ
葉 閑女
笹田隆志
柳本恵子

臆病なサイズを着せるこれからに
十月の推しの話をラッピング
生卵何個割ってもハズレです
ため息にやつて来たのは接続詞
柘榴になるか透明になるか
土曜日をのつぺらぼうにするポスト

米山明日歌
吉松澄子
夏草ふぶき
野沢省悟
奈良一艘
葉 閑女

【五客】

酔い止めを飲んで不倫はおしまいに
トーストにはさむ昭和の歌謡曲
紅葉いちまいまだ仇討ちを忘れない
こぼれ萩あれが最後のまた明日
裏返すと引っかけ問題になる さて

吉田吹喜
須藤しんのすけ
野沢省悟
きさらぎ彼句吾
熊谷冬鼓

【人位】

二メートル以内に老母を置いて 秋

斎藤泰子

【地位】

ひと抱えのダリアあるいは殴り込み

守田啓子

【天位】

こんな日をピリオド日和と申します

吉松澄子

「ピリオド」を肯定的に明るく丁寧に申されると、死ぬ怖くなります。かしこ



「チャレンジ川柳！むさし流！」のブログはこちらから

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階
【日時】毎月2回 第2・4火曜日13時～14時半
【講師】おかじょうき川柳社 代表 むさし
【受講料】1回 500円

□ 12/14(火)「深い」 □ 12/28(火)「後ろ」

●投句先：〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3
むさし宛 / TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

川柳吟行会「ぽ」

課題『月』

今回は、休会になった合評会が再開されました。参加者5名、残念ながら少人数になりましたが。今回の一人吟行の題は、「月」。集まった句は57句。青森で、東京で、大阪・奈良・京都で、山口・福岡と同じ「月」を見ても、作った句は多種多様。合評会では、よくわかると思っていた句が、別の顔を持っていたり、難しいと思っていた句が、意外に単純な句だったりに気づかされます。合評会ができたことを嬉しく思いながら、秋雨の帰途につきました。(こあき)

【10点】特×4・佳×2

満月を半分こする母がいない

滋野さち

【吉見恵子】まるで宝くじでもこするかのようで表現が面白い。気が付いたら、母はとつくにあの世行き。まだ

親孝行さえできていないというのに。半分こするに突然気付いた作者の驚きが伝わった。【冬鼓】長年の母との確執が解けたのだろう。それを月を分け合うとした表現が上手い。母が生きているうちに和解したかった。【隆志】亡き母を想う子の優しさが「半分こ」でつたわってくる。【規子】私もいずれは満月を半分こ出来なくなるのですね。【彰子】お母さんなら月を擦るかな、納得。【こあき】最初「こする」で読んでわからない句でしたが、合評会で「半分こ」するでいい句になりました。

【8点】特×2・佳×4

銭湯で毎日洗う生年月日

岩根彰子

【こあき】銭湯で生年月日を洗ったら年をとらないかも。「月」の題から生年月日へ飛んだのがすごい。【さち】そこあ、銭湯って生年月日も洗うところだったんだと衝撃的。年々衰えていく自分を寂しく見るのか、新しい自分に生まれ変わっていくためのせつけんか、読む人によつ

て変わる風呂の情景。【吉見恵子】生年月日で作者自身を表現している面白い句ですね。生年月日を洗っても若くはならないけど、洗えば精神は磨かれるかも。【かなえ】「生年月日」に紛れた月が面白い。語順が気になった。【隆志】毎朝5時朝風呂会で実感してます【規子】銭湯で洗って微罪を洗い流したり改心できたり、するかもしれない。

【6点】佳×6

笑うツボ微妙にずれる昼の月

熊谷冬鼓

【彰子】昼の月ときたら薄ぼんやりを想像しがちだが笑うツボか。【柳本恵子】昼の月の感じが、とてもよく表わされています。【かなえ】戸惑いの空気が見える。こういう人、好き。【文音】ぼよんと霞んでいる昼の月が見えた。私も笑うツボがずれているらしい。【ふぶき】ぼんやりとした印象の昼の月は感情のタイミンが微妙にずれるのですね。昼の月の印象をうまく使っている。【夢香】昼の月だからこそ、存在感がー。

【5点】特×2・佳×1

良い人じゃないって月が知っている 夏草ぶぶき

【朱美】うんうん わかってる。表面的には良い人って

言われている。きれいごとだね。【州花】100%いい人なんかでいられる訳はないのです。【啓子】昼は品行方正。夜はちよい悪。ちよつと懂れます(汗)

【4点】特×2

急カーブ過ぎると月が老いていた

滋野さち

【啓子】人生ですね。いろいろありましたけどあととは穏やかに暮らしたいものです。【五郎】自分をふり返ってみたのか。深い意味を感じさせる。

ふるさとの月の欠片をつるす窓

柳本恵子

【ふぶき】どこで見る月も同じ月なのですが、ふるさとで見た月は格別な安らぎをくれるのでしょうか。【夢香】しみじみとふるさとを想うなつかしさが感じられます。

【4点】特×1・佳×2

木の椅子に月の雫の落し文

福田文音

【紫の園】木の椅子は優しく、月の雫の文が屈くなんて、素敵なおもてなしな句。【柳本恵子】とてもメルヘンチックな詩情を感じます。【夢香】ロマンティック。どんな文でしょう？

【3点】佳×3

共犯を拒まぬ月を飼い殺す

吉田州花

【朱美】すばらしい。共犯はとつてもスリリング！【いずみ】月は黙って見ていただけだからって飼殺すなんて絶対に罰が当たるよ。【冬鼓】月を手玉に取れる強者。創作とはいえ迫力に圧倒された。

【2点】特×1

手弱女のしらっと青く怖い月

旅男

【いずみ】月は女性とみなされているけれど、優しいなんて思ったら怖いことになる。

三日月を舐めたら酸味が強すぎる

小野五郎

【彰子】大体は題の様子を詠んだ作品になりがちだが、五味の内の酸味が表現した所が興味深い。舌を信じている作者。

五臓六腑私の中の月たちよ

柳本恵子

【旅男】いろんな月をお持ちのようで。どんな月か分かりませんが穏やかでない気がします。言いたいことが有

きました。隠しきれなくて打ち明ける時使わせていただきます。

月に一度月の悩みを聞いてやる

城後朱美

【五郎】「月」を2回使っておもしろい句ができた。【こあき】いつも願いごとを聞いている月はさぞかし悩みが多そうですね。

【1点】佳×1

名月へ欲しいものなどない今宵

吉見恵子

煌々と輝るから悪さできないし

夏草ふぶき

昼の月ピーピーケトルなっている

柳本恵子

月が全部欠けて露わになる私

守田啓子

雲の陰に隠れた月よそのまま

上村夢香

満月が割れてうさぎのパラパラ漫画

宮井いずみ

りそうで凄みがある。

頑張りの糸切れた日の月の暈

熊谷冬鼓

【柳本恵子】張り詰めている時に優しくされると、人は糸が切れた気分になる。月がにじむのは月の優しさかもしれない

満月を見ればこなれる田舎味噌

笹田隆志

【かなえ】田舎味噌の美味しさの秘密は月にあった！上手いなあ。「こなれる」は「熟れる」。お味噌の匂いがふんとした。

スーパームーンを一人で見えています

小野五郎

【文音】今までは特別なスーパームーンは一人で見ることとはなかっただろうが、何か理由があったのだろう。

【2点】佳×2

月光で冷やして話すさわりごと

旅男

【紫の園】月の光で頭を冷たくしてから、そつと話す秘密は誰でも興味津々。【親子】いい方法教えていた

月蝕に入ってしまった下半身

小野五郎

見かけたら言葉かけてね 月に雲

笹田かなえ

ポチ袋月の光を満タンに

渡邊こあき

海の上の月に見られてからのこと

守田啓子

国旗など立てるな同じ月である

村井規子

旧姓に戻りましたと月へ告ぐ

吉田州花

不器用結構 三日月なお結構

熊谷冬鼓

月のぬくもり ほいものちょっとある

守田啓子

泣き虫の月だなあ半解凍だね

滋野さち

月仰ぐブリキのラクダ歩き出す

福田文音

十和田たてがみ川柳会十月句会

■10月16日(土) 於：十和田労働福祉会館

【出席者】漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・

福田芳記・村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題 『いたずら』 福田 芳記 選

【平抜き】

愛犬は二才のやんちゃ柱囃み 久保あざみ
 いたずらで飲んだタバコがやめられず 中村 英三
 目の奥に年甲斐もなく有るお茶目 村上 昌子
 憎めないいたずら好きの好々爺 高田 幸柳
 いたずらの奥に潜んだ自己主張 木村奈生美
 子煩惱叱つてみたが頭撫で 斉藤 蛙井
 いたずらかいじめのメール子等悩み 村上 昌子
 いたずらのつもりが傷つける心 佐藤まさあき
 いたずらもあやまつてすむかわいげさ 中村 英三

■席題 『いたずら』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

目の奥に年甲斐もなく有るお茶目 村上 昌子
 いたずらのつもりが傷つける心 佐藤まさあき
 いたずらで飲んだタバコがやめられず 中村 英三
 許すまい悪いいたずらする上司 福田 芳記
 憎めないいたずら好きの好々爺 高田 幸柳
 こつち見てやんちゃ懐かし共稼ぎ 村上 昌子
 いたずらは笑える範囲ちようどいい 漆館ミノリ

いたずらを重ねて知った親心 斉藤 蛙井
 叱られたいたずらつ子に照る夕日 高田 幸柳
 街中のいたずら風は知らん振り 木村奈生美
 笑われていたずらじゃないどじでした 漆館ミノリ
 キューピット恋のいたずら命中す 佐藤まさあき
 愛犬は二才のやんちゃ柱囃み 久保あざみ
 【秀逸】
 いたずらがイジメの種を蒔き散らす 木村奈生美
 いたずらに恋へ奔走するカモメ 高田 幸柳
 【特選】
 いたずらの奥に潜んだ自己主張 木村奈生美

イケメンでなくても僕でいいですか 瀧尻 善英
 わび・きびはイケメンだけじゃ成り立たぬ 高田 幸柳
 イケメンに蓼食う虫の嫁が来る 佐藤まさあき
 イケメンの介護に集う紅がいる 磯島 雅男
 イケメンという麵 探すラーメン屋 中村 英三
 その昔イケメンだったと言うオヤジ 佐藤まさあき
 イケメンの歌手をおばちゃん追っかける 佐藤まさあき
 イケメンの前では背筋ピンと伸び 高田 幸柳
 イケメンも話術巧みなチビに負け 瀧尻 善英
 【秀逸】
 イケメンな犬が尻尾を振ってくる 城後 朱美
 イケメンがマスク取ったらただの人 瀧尻 善英
 【特選】
 善尽くす中村哲の生き様は 久保あざみ

■宿題 『イケメン』 村上 昌子 選

【平抜き】

イケメンを前に寅さんいい啖呵 斉藤 蛙井
 イケメンもイケメンやはり覚えなきや 木村奈生美
 夫より柴犬ココロ イケテます 久保あざみ
 イケメンへ黄色い声はマダム達 高田 幸柳
 イケメンの妻イケメンに育ててる 漆館ミノリ

■宿題 『意欲』 佐藤まさあき 選

【平抜き】

意欲出シスマホデビューも眼が霞む 斉藤 蛙井
 意欲無いから人参ぶら下げる 城後 朱美

□ 2022.01.15 第 10 回卑弥呼の里誌上川柳大会

【課題・選者】(各2句)『自由吟』津田暹・大西泰世共選/『変化』濱山哲也・鈴木順共選/『試す』阪本高士・樋口由紀子共選/『ポスト』横尾信雄・赤松ますみ共選/『夜』村山浩吉・木本朱夏共選【参加費】1,000円(切手不可) 発表誌呈(4月初旬発送予定)【締切】令和4年1月15日(土) 消印有効【投句先】〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子 電話・FAX 0952-52-1061【賞】各題特選1句に有田焼/各題佳作5句に図書券(その他サプライズ賞あり)【主催】卑弥呼の里川柳会【協力】毎週Web句会

□ 2022.01.31 2022年青森県川柳年鑑「ねぶた」作品募集

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円(切手不可)【対象作品】残しておきたい自選10句・作品にタイトル(タイトル無しも可)【応募用紙】所定用紙またはA4用紙に楷書で、住所・氏名(姓と柳号・本名)・電話番号・年齢・性別・柳歴・所属結社(2社まで)【掲載内容】A5版の冊子に、作品・姓と柳号・住所・電話番号・所属結社(住所・電話番号の掲載は任意、その他はデータ資料として活用)その他不浪人賞、年度賞、蝶五郎賞、文芸コンクール、新聞の柳壇、東奥少年少女文芸大会、各大会の記録・各結社の呈賞・柳壇トピック等【応募期間】2021年10月～2020年1月末日【発表】2022年4～5月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟 年鑑係【問い合わせ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也(電話)080-5574-9297

川柳作品をお待ちしております。

■ 題 「時事川柳」 むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈

まだ行けるまだまだ行ける意欲見せ
人一倍頑張り取れた特選句
魔法だねそのひと言で木に登る
そこそこの意欲ほどほど人生か
老いてこそ生きる意欲が居るんだよ
バーゲンよ腰の痛みはどこへやら
青い鳥探す意欲はいつか消え
意はあるが欲は無くなり気が楽に
未だ生きる気力欲しくて握るペン
匹夫の勇意欲だけでは役立たず
大関に復帰の意欲綱取らず
1%の意欲があれば生きられる
まだできる想いのうちが引き際と
ライバルが現れアドレナリンが出る
落款を捺せば男の自負が湧く

【秀逸】
髭を剃りながら夜明けの覇気を得る
満腹になると意欲が出て来ない

【特選】
誉め言葉きつかけ燃えて来た意欲

中村 英三	木村 奈生美	村上 昌子	漆館 ミノリ	福田 芳記	村上 昌子	齊藤 蛙井	漆館 ミノリ	木村 奈生美	中村 英三	福田 芳記	城後 朱美	高田 幸柳	瀧尻 善英	瀧尻 善英	瀧尻 善英	城後 朱美	木村 奈生美
-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

■ 互選 『勢い』

① 大関になつた勢い綱を取る
① 告白に酒の勢い借りました
① 波どんと起こす平和とジェンダーと
① 勢いで歯科それでもハッヒッホッ
② につこりし勢いつけて嘘を吐く
③ 秋雨で勢いづいて行く寒さ
③ 栄光が私を避けた勇み足
③ 意味のない勢いだけの解散へ
⑤ 感染が津波のように押し寄せた

福田 芳記	佐藤まさあき	村上 昌子	漆館 ミノリ	齊藤 蛙井	中村 英三	木村 奈生美	高田 幸柳	瀧尻 善英
-------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------

【十和田たてがみ川柳会12月句会案内】

【時】12月18日(土) 午前10時から 【所】十和田労働福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『選ぶ』久保あざみ選 / 『炎上』齊藤蛙井選 【互選】(一句詠)『エール』当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】一題(三句詠・共撰) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句先】〒034-0049 十和田市西三十二番町2-21 十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

■会費拝受【10月受付分】

トクタヒロシ（三戸郡）/ 辻井洋子（青森市）/ 瀧村小奈生（愛知県）/ 中村誠子（弘前市）

■おかじょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆私は前々から、川柳は音楽であると言っている。そして、他の川柳作品をたくさん読み込むようなことはしない。よく、他の人の作品をもっと読みなさいという指導者がいるが、それはあくまで初心者までの話。他人の川柳に感心することはあっても、川柳から川柳のインスパイアでは弱いんじゃないかなとずっと思っている。という主張を若い時からしてきたのだが、全く同じことを言っていた人がいた。「君たち、漫画から漫画の勉強するのはやめなさい。一流の映画をみろ、一流の音楽を聞け、一流の芝居を見ろ、一流の本を読め。そして、それから自分の世界を作れ。」これは、漫画界の巨匠、手塚治虫の言葉。やはり、一流と一流では考えることは同じなんだろなと（笑）冗談はさておき、私もここ終

着駅には、他ジャンルの話題から、何かを川柳に還元させれないものかと書いてきた。昔なら、一流のそれは都市部に住んでいないと体験出来なかったものが、今はインターネットで無料で疑似体験のようなことが出来るようになった。だから、今度は川柳の題を字ではなく、例えば「戦と千尋の神隠し」を皆で鑑賞して、映画の内容を川柳にするのではなく、それを観て自分の中に生まれたものを川柳にするという、ま、一種の印象吟的な試みも面白いのではないかと思う。◆さて、気の長い会員の皆様に支えられて（笑）、なんとか柳誌の発行を今年も無事に終えることが出来ました。スタッフの皆さんもお疲れ様でした。来年は、いよいよ「身体」が忙しい川柳界になりましように。それでは、よいお年を◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2021.12.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（2月号分）

【締切】12月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】2/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2022.01.08 おかじょうき川柳社本社1月句会

【時】1月8日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】1月7日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『マーク』/『間』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選・選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句「オノマトペを使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子）■句会参加の際は新型コロナウイルス感染対策に協力願います。

□ 2022.01.12 「川柳吟行会 ぼ」1月句会

【投句締切】1月12日（第2水曜日）【題・投句数】『香』3句【合評会】1月19日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

□ 2022.01.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（3月号分）

【締切】1月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】3/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



おかじょうき川柳社：誌上句会

0番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者 (2句詠・共選)

題：『短』

2/28 〆切

選者

徳長 玲 (徳島県)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、今回より郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/toku/0line.html> へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田啓子宛にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円 (発表誌呈) *発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。